

全国版

第407号 2008年1月1日

編集・発行

アカシア会

アカシア会事務局 住所・連絡先

〒734-0005 広島市南区翠1-1-1

広大附高アカシア会館

TEL&FAX 082-253-5581

通算 490回 例会



(12頁に説明)

渡り廊下撤去で姿をあらわした母校講堂

広島アカシア会 1月例会のご案内
～新年互例会～

日時：平成20年 1 月17日(木) 午後6時30分

場所：アンデルセン(本通)

「NewYearコンサート
～100年前のウィーンへの旅～」

松田道枝(58回) 平尾 真(68回) 越智ようこ(70回)
大魚信頼(82回) 三村純代(95回) 渡邊正済(96回)
佐々木康子(現教員)の皆さん

ソプラノ歌手と、管弦楽班OBによる演奏です。今回のために書き下ろされた新曲「眠りのさそひ」と、「メリーウイドウワルツ」「ドナウ川のさざ波」など、おなじみの曲で100年前のウィーンの旅へと誘います。

2月例会：2月18日(月)午後6時30分

場所：アンデルセン(本通)

「脳卒中の予防について」 脳神経外科医 三原千恵氏(66回)

3月例会：3月17日(月)午後6時30分

場所：アンデルセン(本通)

「広島県の体協の現状」 (株)中電工会長 加藤義明氏(44回)

広島アカシア会の懇親会費は4,000円(76回以降の卒業生2,000円)
アカシア会員なら参加自由。お気軽に直接会場にお越し下さい。

新年のごあいさつ

アカシア会会長 石井泰行(43回)

[illegible]

Contents

写真・ごあいさつ・月例会案内……	1	東海アカシア会……………	8
アカシア夜話② 鈴木文彦氏(38回)…	2	九州アカシア会……………	8
出てもらうてもええかいのお⑩……	3	岡山アカシア会……………	8
構内記念碑・記念樹⑤……………	3	友誼の御園……………	9
アカシア探検隊 喜久川政樹氏(72回)…	4	アカシア元教官の会……………	10
教師列伝(下)のご案内……………	5	同期会だより……………	10
東京アカシア会、58東京アカシア…	6	12月例会レポート……………	12
近畿アカシア会……………	7	事務局だより……………	12

アカシア夜話 アカシアンナイト
第2話

特色ある東海アカシア

東海アカシア会は他地区と少し違い附属小学校の同窓会である東海豊葦会と一体で運用されています。何故そうなったのでしょうか。

また、すっかり平和になった今、あの戦争を体験された方は徐々に少なくなっています。特に当時中学生の年代で実際に戦闘の経験をお持ちの方は、極僅かなのではないのでしょうか。

第2話は、東海アカシア会・豊葦会2代目会長の鈴木文彦さん(38回)に、偉大な初代会長であった曾田和之さん(32回故人)の思い出とともに、この辺りのお話をうかがいました。

発足の経緯

昭和36(1961)年1月、新見 忠さん(21回故人)から呼び出しがあり、名古屋での第1回東海豊葦会に出かけました。そこには先輩のきら星のごときお姉様方がそろっておられてびっくり。愛知県教育長の渡辺捨雄さん(11回故人)も来ておられ、にこにこされていました。その時、曾田梅太郎先生(数学教師故人)のご子息で豊川におられた曾田和之さんがつかつかと寄って来られ、「鈴木先輩よろしく」と大きな声で言われました。実は曾田さんの方が先輩ですが、見た目が私の方が老けて見えたので、そう思い込まれたようでした。後輩と分かったとたん、「おどりゃー何ゆうとるんなら!」と態度が一変し、以後まったく頭があがりませんでした。

この時は、女性8人男性7人で、女性陣は小さくなっていましたが、翌年以降の会では、徐々に男性が増えてきました。そこで、曾田さんの提案で、附中・附高と一緒にということになり、昭和39(1964)年に東海アカシア会・豊葦会がスタートしたのです。その後は曾田さんが、自腹を切ってまでこの会を盛り上げ、何と33年間も我々を引っ張って下さいました。今も大変感謝しています。

中学生の戦闘機パイロット

初めてお会いした時、曾田さんから「自分は陸軍で偵察機に乗ったが、お前は海軍で紫電改(海軍最後の新鋭戦闘機)に乗ったと言っとるけど、歳がいかんのに何で海軍に入れたんなら?」と聞かれました。当時、「附属は坊ちゃん学校だから軍に入れようとし

ない非協力的な学校だ」と中国新聞に叩かれていたので、親にも内緒で昭和18(1943)年、中学2年生14歳の時に「予科練に行きます」と手を上げたら、学校が2年ほど歳をごまかしてくれました。こうして海軍の飛行練習生を経て、紫電改に乗って岩国・松山・鹿屋など国内の基地を転々としたのです。

更に、「松山の時、へたくそな着陸をして滑走路を突き抜けてしまった陸軍機がおったので、ど叱ってやった。」と言ったところ、「そりゃあワシじゃ。あの時は急に便所に行きとうなって緊急着陸したんじゃけえ」と言われ、思わず「えー、先輩じゃったんか」とびっくり。運命的な出会いでした。

松山当時、源田実司令(後の参議院議員)に、「お前は附属なら、曾田というやんちゃ坊主を知っとるか?」と聞かれ、「いえ、知りません。」と答えたら、「あいつを知っとかにやいかんよ。」と言われていたことを思い出し、不思議な縁を感じました。



左から2人目が鈴木文彦さん、左端が奥様

そう言えば、私は敵のグラマン戦闘機2機に追尾され必死で逃げ切ったが、それが結果的に敵を誘い込み、味方の対空砲火で撃墜する事が出来たと言う事で、感状まで貰ってしまった事がありました。今の若い皆さんは、中学生が海軍2等飛行兵曹として戦闘機に乗って敵と戦ったなんて信じられないと思われることでしょうね。自分でも腕の良い飛行機乗りだと思っていたが、もちろん戦争が終わったら附属中学の4年生に戻りましたよ。

曾田先輩の思い出

曾田さんには発足以来の長きにわたり会長をやって頂きましたが、平成9(1997)年に私に引継ぎ、4年後に吉本幹彦さん(41回)にお願いするまで、皆さんのご協力を得て会長を務めさせて頂きました。この間、平成12(2000)年10月に曾田先輩が亡くなりましたが、最後まで「くれぐれもアカシア会をよろしく。」と言い残されました。

因みに、曾田さんは亡くなる直前に幹事を自宅に集めて、病床から「さあ遠慮なく飲め」と皆の飲み食いを嬉しそうに眺めておられました。その後自分の葬儀の段取りを全て自ら手配されて旅立たれました。「本日の主役」と書



曾田和之さん

かれたタスキをかけた自分の写真を祭壇に掲げ、参列者へのご挨拶まで自ら録音しておられて葬儀時に流される等、皆をびっくりさせた豪快な武士でした。

曾田さんは酒豪で、特に日本酒を好んでおられたので、東海アカシア会・豊葦会はいつも座敷で和食だったため、次第に女性陣の参加が減りました。私が会長になった時、女性陣や若い人達の参加を増やすために事務局と相談し、例年の総会をフランス料理とワインの店でやるようにしました。もちろん名誉会長の曾田さんには特別に日本酒を用意しましたが、結果的に、再び女性陣の参加も増えてきて、46年前の第1回豊葦会に出席されたお姉様方もお元気に参加していただいていますし、若い人達も徐々に増えてきています。

東海地方の特殊性として、官公庁・会社関係の幹部で着任され、1~2回はご参加いただいても、数年で異動されることが多いのです。こうした状況の中で、老若男女を問わずもっと多くの皆さんが総会やビール会に参加してくれて、日頃の交流を深め、この会が一層活性化できればいいと思います。

この夏、暑さ日本一の記録となった岐阜県多治見市の鈴木さんのご自宅に押しかけ、お話を聞かせていただきました。当日は特別お元気で、ビールとワインまでご馳走になりました。お話の間中、奥様が横に控えて見守っておられ、必要な時には適切な助け舟を出しておられたのも印象的でした。

附属の名誉挽回のためにあえて予科練を志願して戦闘機乗りとして戦われた鈴木さん、そして曾田さんとの運命的な出会い、今の若い世代には考えられないような時代があったのです。

曾田さんや鈴木さんのようなツワモノ達がアカシア会を引っ張って来てくださったのです。特徴ある東海アカシア会の誕生も興味深いものでしたが、これからの新たな歴史を築き上げていかねばとの思いを強くした一日でした。

【監修：吉本幹彦(41回) 写真：中村博之(43回) 文責：沖 信一(55回)】

野中幹夫(元教官)さんからのご紹介



① 古田 篤良 (61回)
② 広島市中区
③ マツダ(株)に勤務しています。私は、中学・高校サッカー班で生方に変遷ご迷惑をおかけ致しました。紹介いただいた野中先生は、私が高校三年時に赴任されサッカー班監督としてご指導いただき、4年ぶりに西宮の全国大会に出場する事が出来ました。残念ながらそれ以降附属は出場しておりません。サッカー班の奮起を！
④ サッカー班の先輩で、今でも一緒にサッカーを楽しんでいる方です。

自己紹介と、次号の登場人物の紹介をいただくコーナーです。

出てもうてもええかいのお

項目説明

- ① お名前と卒業回数
- ② お住まい
- ③ お仕事、自己紹介、母校の思い出
- ④ 次号の登場人物とあなたの関係

会員リレー紹介⑩

大崎直樹(86回)さんからのご紹介



① 岡井 英里子 (88回)
② 広島市中区
③ 今年の桜の季節、懐かしさに誘われて、附属の敷地内を散歩しました。その時、部活なのか、男の子とすれ違いました。不審者と思われるうだったため、足早に立ち去ろうとした時、「こんにちは」と声をかけてくれました。附属の生徒は知らない人にも挨拶してくれるんだと感心し、ちょっと温かい気持ちになりました。
④ 附属中高時代の大親友の旦那さんです。最近男の子が産まれたハンサム医師です。

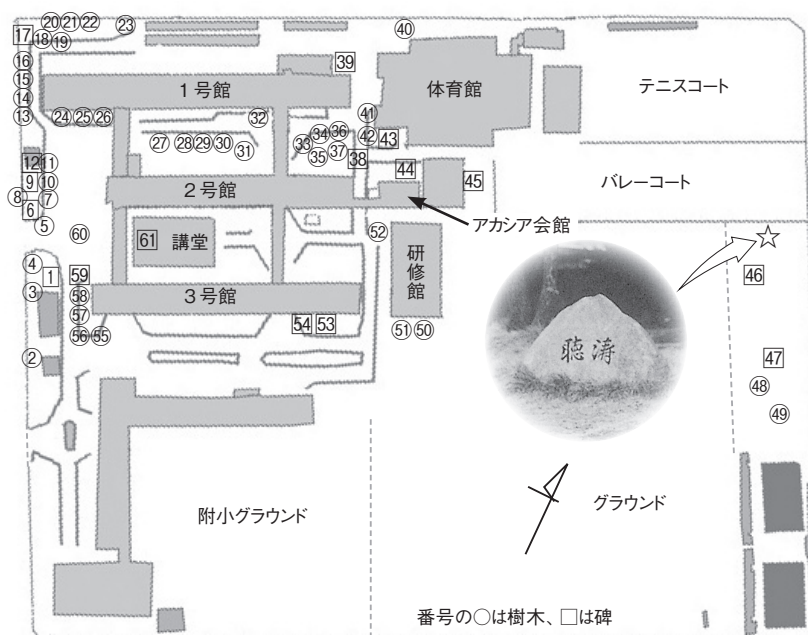
構内記念碑・記念樹 ⑤

翠1丁目の附属・高等学校構内には、たくさんの記念碑や記念樹がある。多くは、昭和36年3月に附属高校が当地に移転してきてから、建立あるいは植樹されたものである。

今回は、正門を入って左の区画の一番奥を紹介します。



⑫車庫の手前に、24個の石に囲まれ、中に3個の石が配置された空地がある。



る。その隣には「聴涛」と刻まれた石碑と、「われわれは海を愛する。しかし、海の厳しさも忘れない。昭和47年7月25日光市の海に逝った三浦俊幸君をしのびこれをつくる。」と記された小ぶりの石碑がある。

これらは臨海学校の水難事故で亡くなった三浦君の追悼碑である。昭和49年(1974)、グラウンド東端(上図☆印)

に築山風の「聴涛の丘」として建立されたが、記憶を風化させないために、平成6年(1994)、正門横に移転された。

開校2年目の明治39年(1906)以来中断しながらも続いた臨海学校は、この事故以降再開されることはなかった。



月例会報を購読してみませんか？

Q：リレー紹介「出てもうてもええかいのお」は、おもしろいねえ。いつから始まったん？

編集長：今年度の4月からよ。月例会報読んどる人は知っとるけど、12月は野中幹夫先生[保体]じゃったし、今まではJリーグチェアマンや水族館のお兄さんも出とるんで。

Q：へえ～。この人とこの人は何繋がり？次は誰？と思うとわくわくするね。「構内記念碑・記念樹」というんにも番号がついとるけど、連載なん？

編集長：6月から始まった不定期連載よ。学校の中には、なんかようわからん碑がたくさんあるじゃろうが。記事を片手に構内散策すると面白いで。そのうちあんたの回の卒業記念樹が出てくるかもしれんし。月例会報を購読したら読めるで。

Q：ところで、月例会報いうて何ね？

編集長：7月と1月の全国版以外の月に出とる会報よ。購読料を払った人にだけ送るけえ、申し込んでみんさいや。

Q：どこへ申し込むんね？

編集長：アカシア会ホームページから申し込めるで。アカシア会にFAXしてもええよ。振込用紙を送ってくるけえ、年間購読料の2000円を払いんさい。今年度のバックナンバーもあわせて送ってくれるで。読んだ方が得で！

アカシア探険隊

～MI・2008

江戸城潜入の巻～



72回 喜久川 政樹氏

～株式会社ウィルコム代表取締役社長～

め組の頭 辰五郎：

オ～イ、今日は徳田新之助様の所にご機嫌伺いに出かけるぞ。気張って支度しろい、ってんだ。

辰五郎の妻 おさい：

ハイよお前さん。準備万端だよ。朝からソワソワしてるあんたの様子見てりゃ、「お出かけだな」って判ってもんさ。だけどサ、なんだって急に？

辰：オー、それを聞けってんだ。新之助様がヨ、実はPHS会社の親玉をなさってたと、さすがのお前も知るめえ。それが俄かに江戸表だけじゃなく、日本津々浦々に知れ渡ってヨ、今じゃ瓦版屋達に追っかけ廻されてるって寸法よ。そんな大忙しの新さんがヨ、是非俺たちに会いたっておっしゃるんだ。

お：へ～、なんでなのサ？

辰：同窓のお偉方から、「俗称：徳田新之助(本名：喜久川政樹)から最近のモバイル業界の話しやら、同窓生・現役生徒達へのメッセージをインタビューしてくる事」って言うお達しがあったもんで、それをお願いしたら、快く受けて下さったってわけヨ。瓦版屋達にゃあ話せないような事も俺たちには楽しく話せるってもんよ。

お：へえーあの中学高校時代に「暴れん坊将軍」だった新さんがねえ。(中学高校時代は正反対だったのに)悪代官やら悪商人達を懲らしめるだけじゃなくて、今じゃ通信通信業界でも大活躍ってわけかい。飲み会で

「マツケン」の真似して騒いだり、「成敗！」なんて決めゼリフ吐いてるだけじゃなかったんだねえ。

辰：バーロー！つまんねえ事言ってるじゃねえ！急がねえと江戸城松の間でお待ちかねでエ。

と、ということで今回はモバイル／通信業界の「マツケン／暴れん坊将軍」ことアカシア72回生の(株)ウィルコム代表取締役社長 喜久川政樹さんの登場です。



辰：本日は大変にお忙しいところ、お時間を割いていただき有難うございます。

喜：ようこそ江戸城松の間へ(笑)。よくお越しくださいました。(実はウィルコム中四国支店の応接室)

お：早速ですが、現状のPHS事情についてお話しいただけますか？

喜：昨今のモバイル通信事業は複雑化していて、一言で申し上げるのは困難です。ただ、私どもが目指しているのは「様々な通信(通話、データ)シーンに於いて、最適で最善なものを利用者に分かり易く提供する事」です。数年前は、多くの通信事業者がPHS市場から撤退し、日本発の素晴らしい技術であるPHS自体が消滅しつつありました。しかし我々は前述の理念に基づき、事業を粘り強く継続して参りました。その結果、「最適で最善なソリューション」が再評価され、お蔭様で携帯電話とは少し違ったマーケットでイニシアティブを頂いております。

お：「モシモシ、ハイハイ」の通話は勿論ですが、その他の法人・個人利用のデータ通信分野も含めて、大いに可能性が広がっていますね。また、日本のみならずアジアでの事業展開も有望なようですな。

喜：日本は勿論、アジア各国でもPHSの利便性が再評価されています。インフラ整備にお金の掛からない、高品質で高速な通話・通信事業をこれからも押し進めて行きたいと思えます。

辰：話は変わりますが、中高時代の思い出をお話し頂けますか。

喜：中高時代はバレー班に所属しておりました。今はどうか分かりませんが、当時のクラブの練習は結構厳しかったと思います。バレー班自体も私の2期上までは県でも上位に位置していました。また、他のクラブ



P r o f i l e

昭和38年7月1日広島市中区生まれ、57年3月広島大学附属高等学校卒業、62年3月早稲田大学商学部卒業、同年4月第二電電株式会社(現KDDI株式会社)入社、平成7年DDIポケット株式会社(現株式会社ウィルコム)に出向。相互接続業務をはじめ、事業戦略の立案、料金プランの立案、他事業者とのアライアンス構築など、経営企画業務に従事、14年取締役経営企画本部長、16年10月執行役員経営企画本部長、17年2月DDIポケット株式会社から株式会社ウィルコムへ社名変更、18年10月代表取締役社長

もレベルが高くて、サッカー、軟式野球も県代表レベルでしたな。種目は違いましたが、お互いライバル視して切磋琢磨していたと思います。そのほかの思い出としては、やはり附属特有の「体育祭」が挙げられますね。私は赤軍の選手団長をやらせて頂きました。ただし、色々あって「当日だけ」特別に参加させてもらいましたが。

辰：はあ？

お：あ、いや、それは私も1学年下でしたからよく知っていますが、深く突っ込まないで。何しろ喜久川さんは当時「暴れん坊将軍」だったわけで…。(中高時代の様子から今の姿は全く想像できないヨ。それに昔は京本政樹ばりに細くて格好良かったんだけどねえ。)

喜：いいんですよ。当時は本当に出来の悪い、素行の良くない生徒だったんですから(笑)。広島アカシア会11月例会での講演では口頭で多少触れさせていただきましたがとにかくこの誌面では言えない思い出ばかりです…。そんな私でも、卒業して26年



江戸城 松の間でインタビュー



アンテナの苦勞話に力がいいる

も経ったのに、例会で卓話をするとなると、数十人の上級生・同級生・下級生が集まってくれます。そういった意味では、附属の学園生活全てが、結果論的にみても一生の友人・先輩後輩を作る時間だったと思います。

辰：附属高校卒業後は早稲田大学に進学され、その後D D I (現ウィルコム)に入社されたわけですが。

喜：はい。中学入学後、典型的な落ちこぼれ(それ以上?)の生徒になり、先生方やその他の方々に色々・様々なご迷惑を掛けましたが、浪人時代に「これではいけない!」と一念発起しました。今は入試制度も変わっているのでもちろんいいますが、偏差値30~35程度から逆襲しました。そして大学入学後はひたすら単位習得のみに励み、これ以上親に迷惑を掛けないようにしました。就職に関しては、「これから通信」という漠然とした思いで決めましたが、それが大きな間違い(?)でした。



さすが、パソコンの画面でわかりやすく説明いただきました

辰：と、言いますと?

喜：通信事業の会社に入ったわけですが、カッコいい仕事は全然ありません。通信アンテナを立てるために南

は沖縄から北は北海道まで、長靴と作業服を着て歩き廻っていました。東京の本社には殆どいません。今の通信業界の社長でアンテナを立てる為に奥地に踏み入り、挙げ句の果てにクマに襲われた経験があるとか、土地の買収交渉を直接した経験があるとかいうのは私だけでしょうね。

お：ずいぶん苦労されましたね。

喜：地方(周辺地域)を廻るのはそれなりに大変でしたが、逆に楽しみもあり、それほど苦痛には感じませんでした。日本各地の様々な風景や風俗・文化に触れることも出来ましたしね。ですが、ライバル会社が次々とP H S市場から撤退して行くのを見て「おいおい、我が社は大丈夫なんかつ!?」っていう思いはありましたね。

辰：それらの経験を踏まえ、現役生徒諸君にメッセージをお願いできますか?

喜：諸君はこれからの人生で色々な苦難(ハードル)に必ずぶち当たります。

しかしそれらの苦難は、実は全て神様が与えてくれているチャンスなのです。私の経験では、頭のいいと言われる人ほど、この「苦難」をうまく逃れ、楽したつもりで、実はチャンスを逃しています。是非「愚直」に苦難にチャレンジして、人生をいい方向に切り拓いていってください。

お：お〜。キクさんならではのコメントですね。続いてアカシアメンバーへのコメントをお願いします。

喜：アカシア会という組織は同窓として単に昔を懐かしむという組織ではなく、時代を超えた(また体育祭や班活動などの経験共有も影響して)共通の方向性を持っている稀有な組織だと思います。東京アカシア会においては、何か会として「日本」のためにできることはないかと模索し始めたところですよ。私もまずは自分の仕事を通し、移動体通信の中では小さい事業ながらも、日本の役に立てよう頑張っているように思っていますので、応援宜しくお願いいたします。



辰五郎の妻 おさい：

ね〜、アンタあ。やっぱり新さんっていい男だねえ。言うことなんかも決まってるじゃないか。

辰五郎：

お〜、あつたりめえよ。なんたって俺達の同窓だからな。だけどもめえ、まさか新さんに「ほ」の字になったんじゃないだろうな。

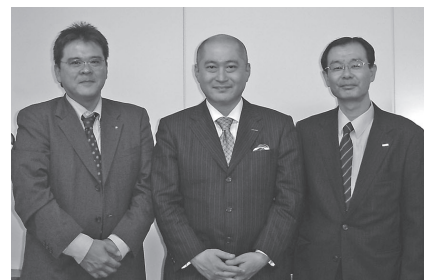
辰五郎の妻 おさい：

馬鹿だねえ。あたしゃアンタだけだよ。

お後がよろしいようで。

中本 泰弘(65回)

谷口 公啓(73回)



左から谷口公啓(73回)、喜久川政樹氏(72回)、中本泰弘(65回)

『新・教師列伝(下)』の予約受付を開始!

会報に連載され好評だった小山清先生の「教師列伝」をまとめた冊子、「新・教師列伝」シリーズの最終巻(下)が3月に刊行されます。今回は事前に予約注文を取り、冊子ができ次第、予約した方に振込用紙を同封してお送りします。

— 既刊の「新・教師列伝(上)」 「新・教師列伝(中)」も、アカシア会にて、各1冊1000円で好評販売中! —

(著者のことば)

1口3000円(5冊分)で、注文を受け付けます。注文が50口になりましたら、印刷にかかります。

【予約注文】メール・FAX・葉書で、

お早目にアカシア会まで。

「新・教師列伝(下)の注文」と明記、

①「何口(何冊)を申し込みます」

②お名前(卒業回)

③冊子を送付する住所

④電話番号(メールアドレス)

— 「新・教師列伝(下)」の内容 —

掲載される先生方：[明治時代に赴任] 牧 一、原 貫之助、永野武一郎、篠崎敏治、松原 厚、飯島東太郎、山田権三郎、横手元伸、山本政人、川手笹市、上野賢知、[大正時代に赴任] 梅林寺 昂、幣原 坦、守内喜一郎、山本 寿、浅井 実、塚本常雄、安部 新、山口俊彦、中田俊造、石黒 立、西田利八、井芹善藏、森田良克、清水芳徳、長谷川与三治、松村修三、安達成之、金光弥一兵衛、大浦精一、渡辺豊市、古屋架梁丸、高橋彦三郎、津田芳雄、内田泉之助、一色智二、華岡鋭蔵、関原吉雄、林 実、湯浅初男、大槻正一、佐藤仙一郎、[昭和に赴任] 堀尾茂光、柳井可也、戸田豊三郎、奥田 明、嵐 紫郎、佐藤清太、竹内尚一、結城清一、鎌田芳雄、榊井迪夫、山本博之、塚部 正、山口義男、山崎英夫、菅 正巳、仲 頼次、寺田角一、[昭和20年以降に赴任] 寺田照之助、錦郡 昇、清水 博、原田直紀、三迫初男、石田一三、御沢金弥、岩竹 亨、植田 八郎、杉山 巍、森岡文策、和田日出夫、オールビン、カルグレン、三好 稔、常重八重子、岡村貞雄、白神澄二、板野暢之、丸本婦美子、村上 誠、萩野源一(以上81名)

巻末付載「校歌作詞者 田中好賢伝」

東京発

東京アカシア会 秋季懇親会

11月18日(日)、東京大学本郷キャンパス内の「山上会館」において東京アカシア会平成19年度秋季懇親会が、講演会と懇親会の二部構成で開催されました。当日は快晴に恵まれ、会場に隣接する三四郎池の紅葉が印象的でした。参加者数は総勢129名。内、学生の参加が20名、和服で参加される方もいらして華やいだ雰囲気でした。

<講演会>

第一部の講演会は、浅野間一夫氏(60回)の司会で始まりました。大澤郁枝東京アカシア会副会長(52回)による開会の挨拶に続き、お一人目の講師は、音楽家/ベーシストの吉野弘志氏(63回)。「グローバリズムと日本人の感性」というテーマで、ジャズベーシストとして出発した後、民族音楽へ関心を持つに至った心境の変化について語られると共に、ジャズをはじめとする西洋音楽とアラブ音楽の繋がりについて、民族音楽・ジャズの演奏を織り交ぜてお話いただきました。

次に「日本の伝統を守る」というテーマで文化庁長官官房政策課長の小松弥



本日の講演会は初物尽くしですと挨拶される大澤氏。女性が開会の挨拶をするのも本会初ではとのこと。

生氏(67回)より、文化財を守っていくことの重要性和課題について、数々の実例を挙げてお話いただきました。最近世界遺産に登録された石見銀山のケースでも登録に至るまでには紆余曲折があり、自治体、政府機関、そして地域住民の連携によってハードルを一つ一つクリアしていったそうです。



ベースを演奏する吉野氏と文化財について講演する小松氏。講演後の質疑応答では、文化財保護について活発な議論が交わされました。

<懇親会>

懇親会にはご来賓として、広島から河野芳文副校長、向井恒雄全国アカシア会副会長に、また恩師として正田實先生にお越しいただきました。冒頭の川泰宣東京アカシア会会長(50回)から、「会員の力を結集して社会貢献していきたい」とのご挨拶がありました。14名の物故会員に黙祷の後、河野副校長より、この半年の附属の様子についてご紹介いただきました。さらに向井副会長より「広島をより元気にしていきたい」との挨拶の後、杉岡章氏(39回)のご発声で乾杯、懇談が始まりました。

<抽選会で大盛り上がり！>



各テーブルでは世代の違う会員同士が親交を深めました

各テーブルでは春季同様、会の盛り上げ役であるシニア幹事(60回)を中心に、世代を超えた交流がありました。春に引き続き行われた抽選会ではすてきな賞品をアカシア会員の有志よりご提供いただき、会場は大変盛り上がりしました。



正田先生には恒例の抽選会にも参加いただきました。賀茂鶴様、カルビー様、吉野様、ウイルコム様、チュンソフト様から賞品をご提供いただきました。

さらに次年度の幹事となる77回出席者の挨拶に続き、参加者全員で校歌・学生歌を斉唱し、恒例の榎本良二氏(69回)のエールで中締めとなりました。

多くの方のご協力により、今年度も無事春季、秋季の会を終えることができました。参加者から寄せられたアンケートも参考としつつ本会が今後益々発展していくものと期待しています。

11月30日記 鍋本豊伸(76回)

58東京アカシア便り

『ロンドン 秋のフェスティバル』

岡田 俊郎(58回)

6月からロンドン勤務になりました。広島も2つの世界遺産をもつ街ですが、ロンドンの職場も半径300メートル内にビックベンの議事堂とウエストミンスター大寺院と2つの世界遺産があります。

冬時間の始まった11月上旬、ここを舞台にした歴史的イベントが相次ぎました。

まず、5日は「Guy Fawkes Day」。1605年11月5日、国王ジェームズ1世のカトリック弾圧に抗して、国王暗殺を企てたガイ・フォークスが国会議事堂で逮捕された日で、火薬陰謀事件とも言われています。これを祝って、今年は、2日金曜の夜から5日まで、ロンドンの公園という公園で、まるで冬

時間になるのを待ちかねたように火花が打ち上げられました。

翌6日は、議会開会式での「Queen's Speech(女王の施政方針演説)」です。これに先立つ6日の早朝、議事堂の地下の建物に賊が潜んでいないか厳重点検する儀礼が今も続いているそうです。10時半すぎから、女王の御成りパレード。会社の前の道も規制にかかり、ウエストミンスター寺院の方で見物しました。





今、「こだわりライフ ヨーロッパ」というBS1の番組で、1580年からハプスブルク家の白い軍馬を生産していたスロベニアの牧場の地域おこしを紹介する番組を作っていますが、こうしたパレードではやはり白馬は主役ですね。イギリス王室でも20頭近い白馬がパレードに参加していました。

帰り道、寺院を通ると「Remembrance Sunday(第1次大戦の休戦記念日)」にむけた準備が進んでいました。大勢

のボランティアが、戦死者の名を記した小さな木の十字架を、第1次大戦の連隊毎に並べる作業に黙々と取り組んでいました。



ところが、16日、前を通ると、もうきれいに撤去されていました。毎年、「RED POPPY」という赤い羽根のようなもので寄付を集め、作っては壊すのだそうです。

そして19日には、寺院の中でBBCが照明を焚きまくって「Queen's

Diamond wedding」。60年前の結婚式映像とイギリス国教会の賛美歌とお祈りが1時間続きました。

ロンドンの秋、歴史と伝統に根ざした様々なイベントは続きますが、最後に秋なのによりやく花をつけた我が家のトマトとロンドン旧市内の夜明け(8時半)の写真を。(11月20日記)



『こだわりライフ ヨーロッパ』

BSHV(金) 21:30~50

BS1(土) 18:10~30

近畿発

近畿アカシア会 後期総会

12月15日(土)ホテル阪急インターナショナル「瑞鳥の間」で後期総会が開催された。

<広島からも賛助出席2名!>

第一部は皇 暢子副会長(46回)の司会で始められた。堀内重明会長(50回)による現在の消費社会と地球環境に及ぶ開会挨拶のあとは、来賓の原田良三副校長から学校の近況報告がなされた。目下校舎改築中で講堂前の渡り廊下が撤去されることのほか、特に耳目を集めたのは先の小6・中3を対象とした全国学力テストの結果だった。理解力や自信・自尊心は全国平均を大きく上回っていたが、「自分のことは自分でできる」「学習時間が2時間以上」という点では問題があるとのことだった。なお、中高管弦楽班は今年も年末オーケストラフェスタに出場すると披露もあった。続いて、最年長の河原邑安氏(34回)の乾杯の音頭で会食が始まった。なお、当日の講話者と同期の

57回生2人が広島から賛助出席してくれた。

<会食そして「母性内科」の講話>

第二部の会食からは司会を加藤由紀子幹事(60回)が担当。会食・歓談のち、大阪府会議員の徳丸義也氏(64回)より、大阪府知事選の背景と大阪府のビジョンについてのスピーチを受けた。その後「母性内科って知ってますか?」と題する講話の時間が持たれた。講師は大阪府立母子保健総合医療センター母性内科部長の藤田富雄氏(57回)。藤田氏は内科医として同センターで「不育症」(妊娠はできるが流産等を幾度も繰り返す病症)に永年取り組み、日本



藤田富雄氏(57回)

における不育症のパイオニア的存在として活躍中の医師で、その活躍ぶりは関西テレビの特報番組で2日にわたり紹介されている。当日はそのビデオで「ヘパリン療法」と呼ばれる点滴治療の実態を知ることができた。放送の中で、幾度もの早産等を繰り返していた女性が治療の末に初めて無事に出産するシーンは感動的であった。

<出席者スピーチ&アカシアソング>

その後は来賓の向井恒雄全国アカシア会副会長(50回)をはじめ、初参加の原正三、広島からの神鳥京子、天島純子(3氏とも57回)、学生で参加の藤川千紗、徳永祐也(いずれも97回)、上



学生参加者四人組

田大樹(96回)、山本ゆりえ(95回)、当日登録もれでご迷惑を掛けた大谷文彦(60回)、元副会長黒田昭夫(43回)の各氏にスピーチをお願いした。なかでも黒田氏の往年の名調子に乗っての含蓄のあるお話には会場が沸いた。

その後は恒例の「Let's Sing “アカシアソング”」。数曲を全員で歌い、校歌斉唱で幕となった。岡 國太郎(57回)

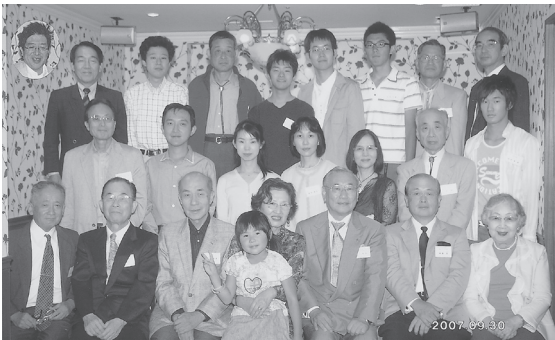


講師を囲んでの57回生

前出以外の出席者：(38)香川 昇、川本和良、(41)戸田正弘、村田好正、(43)熊本直文、藤井侃二、宮本眞亘、米澤啓明、水村雅子、武内里子、(44)井口卓也、内海直志、對馬 敏、春日幸子、(45)日下善道、上野徳恵、(46)生塩之敬、(47)朝川博之、(57)板垣邦和、金岡賢司、西村律子、佐々木由紀子、森 静子、(64)田頭史明

東海発

東海アカシア会・豊葦会 ビアパーティー



猛暑が過ぎ、やっと涼しくなってきた9月30日(日)、恒例の「夏バテをぶっ飛ばそう!」ビアパーティーが、レストラン「パストランテ」で開催されました。今年は93回と95回の超若手が4人も来て(学生は無料)、出席者は23

人。最高齢は今なお若々しい大先輩の西田節子さん(豊葦26回)ですから、彼らとは70歳位違うわけで、母校の歴史と「絆を大切にする伝統」をひしひしと感じてくれたようでした。

まずは中村博之監査役(43回)による記念撮影、そして開宴。

東海アカシア会齋藤藤会長(48回)よりご挨拶・乾杯、引続き来賓の広島アカシア会吉中康磨副会長(50回)にご挨拶頂き、和洋中グルメコースの料理に舌鼓を打ち、ビールを飲みながら、参加者全員から近況を報告頂きました。

九州発

九州アカシア会 総会



第3列: 福井順忍(97)、江川知康(95)、岡崎 敦(94)、若鷗雄作(94)、花栗美百合(55)、飯田史也(70)、田中秀和(72)
第2列: 大賀裕子(96)、伊藤美和(92)、平井佑佳(94)、大槻 衆(97)、川上祐子(66)、出原真理加(66)、吉岡 真(62)
最前列: 出原賢治(67)、宇治光治(63)、伊藤哲生幹事(51)、井上幹夫前会長(32)、八木聖三会長(54)、
山本哲三副会長(61)、中村重太特別会員(理科)、豊原敏光幹事(62)
その他出席者: 荒神一臣(66)、畠井杏葉(97)、甲斐 稔(63)

11月9日、第4回九州アカシア会総会が博多全日空ホテルで開かれました。参加者は、来賓の全国アカシア会

事務局長甲斐 稔氏(63回)を含め25名。井上幹夫会長(32回)は福岡アカシア会時代から40年以上に亘り会員を引

岡山発

岡山アカシア会 総会



今年度の岡山アカシア会総会は、例年より少し遅い12月1日(土)に、岡山ロイヤルホテルで30名の会員が参加して行われました。

今年は広島から保健体育の中本薩雄先生にお越しいただき、岡山在住の梅田玉見先生とあわせてお二人の恩師を

お迎えしての会となりました。

中本先生は、大学卒業と同時に附属に赴任され、定年までずっと勤務されましたので、今回の出席者の半分以上が先生の教官時代のことを知っているのですが、当時とお変わらない若々しい姿にみんなびっくりでした。(閉会后、広島まで車を運転して帰られると聞いてその若さに二度びっくり。)

会は、岡山アカシア会が誇る横手靖吾(54回)、田中信行(63回)のいつもの名(迷?)コンビの司会で始まりました。今年は本会の大本栄一会長(27回)の会社が創立100周年を迎えたこともあり、おめでたく楽しい雰囲気の中で

趣味、家族、仕事、昔の思い出など、東海豊葦会小田千恵子会長(48回)を中心に3時間会話が途切れることはありませんでした。また先日、アカシア夜話(2頁に掲載)寄稿のために鈴木文彦第2代会長にインタビューして、本会発足の経緯、曾田和之初代会長の思い出、附属中学時代の戦闘経験などをお伺いした話題でも盛り上がりしました。

次は2月24日(日)に総会が開催されます。前回同様、「白亜館」でフランス料理と美酒を味わえますので、東海地方在住の皆さんは是非ご参加下さい。

10月7日記 沖 信一(55回)

前出以外の出席者: 村上久夫(40)、吉本幹彦(41)、末富 博(45)、兼川 徹(48)、林 滋(48)、小池典子(49)、戸田 弘(50)、板谷和昌(56)、山脇健盛(63)、服部清美(72)、佐藤哲郎(78)、梶 幸一朗(81)、堀 文恵(87)、石田 充(93)、山下寛泰(93)、村本孝博(95)、杉田洋輔(95)

張って来られましたが、九州アカシア会の体制が固まったことやご自身の健康上の理由から、会長を退任する意向を申し出ておられました。総会では井上会長の退任と顧問就任、新会長等の改選が議題となりました。

今年は、参加者25名中10名が学生会員という若さあふれる会となりました。懇親会では、参加者一人一人から近況報告があり、また多方面で活躍しておられる会員のお話を伺い、楽しい時間を過ごすことができました。

最後に、校歌・学生歌斉唱の後、来年の再会を祈念してお開きとなりました。12月3日記 山本哲三(61回)

新役員	会長/八木聖二(54回)	幹事/豊原敏光(62回)
	副会長/山本哲三(61回)	幹事/谷 正和(66回)
	事務局/伊藤哲生(51回)	顧問/井上幹夫(32回)

スタートしました。参加者の近況報告を兼ねたスピーチでは、いたづらをしていたのを中本先生に見つかって、厳しく尻を叩かれたという暴露話も出て、大変盛り上がりしました。(誰かはその人の名譽のために内緒です。)

香川からも今年は2名参加。来年は岡山と香川と合同で行い、50名集めようという提案がなされ、最後は校歌、学生歌(皆さん知っていますか?)を歌い、来年の再会を約束して散会しました。12月8日記 仲田輝康(61回)

前出以外の出席者: 池田 章(36)、三浦國寛(38)、原田克也(40)、古田 清(40)、森滝健一郎(41)、矢切良穂(42)、戸谷たみ子(45)、加藤修司(47)、古徳奈保子(49)、近藤みち子(52)、佐々木洋三(52)、今石瑞枝(54)、馬場正重(57)、青木三恵子(61)、村井 潤(61)、吉川尚子(61)、小浦 宏(63)、倉橋克文(68)、清水幸登(68)、戸板富久子(70)、沖原巧(72)、田中久子(77)、小笠原純子(79)、村瀧剛(79)、板野 幹(82)、宮岡素朗(82)

アカシア元教官の会 第16回総会・懇親会



第4列 菅原敬三、井ノ迫泰弘、有田嘉伸、南村俊夫、野中幹夫、松井政明、室長大應
 第3列 永田龍男、多田保行、次重寛禧、田鍋 薫、中本薩雄、片山一法、小山 清、太鼓矢 晋
 第2列 金丸幸三、田村咲子、山本克子、小野文子、三上昭洋、福森信夫、寺田芳徳、田村一郎、田中 泉
 最前列 松村幹男、池田克文、磯貝英夫、野地潤家、安原義仁校長、奥出政清、藤井千之助、定末誠治

本年度の総会・懇親会は、8月24日(金)に、中区基町のメルパルク広島で、33名が参加して開かれました。田村一郎氏[英語]、田村咲子氏[家庭]、次重寛禧氏[英語]、井ノ迫泰弘氏[数学]、永田龍男氏[英語]が初めて参加されました。

総会では、米寿となられた野地潤家会長に記念品料の贈呈が行われました。講話は、田中 泉氏[社会]が「アメリカ留学1か年」と題して、スライドを使って、カリフォルニア大学パークレー校での体験を披露しました。懇親会は、来賓の安原義仁氏(現校長)の挨拶で始まり、最年長(97歳)の奥出政清氏[理科]や初参加者がスピーチを行い、盛会のうちに開きとなりました。

同期会だより

31期生 一期一会の会



10月17日、ダイヤモンドシティ(現イオンモール広島府中)ソレイユで開催。東京からも加わり、約2時間懐古、歓談後会を約して解散した。

11月3日記 増田正和

33回 19年度さんさん会



11月23日広島全日空ホテルで、今回は山口信夫君旭日大綬章受賞(昔の勲一等旭日章)の祝賀会も合わせて案内したところ、広島、東京、神戸等11名の出席を得て開催できました。

来年は84才年男となるので元気で病気にせず長生きするよう気をつけるよう申し合わせました。昔話が出ると戦中話となり、山口君などシベリヤや抑留組、坂下君など特攻組等、また内地組、私などの原爆組色々話はずみ、例年のようにはお酒が売れず、その分子算的に楽になりました。年と共に飲食の量が減ってきました。歳には勝てないようです。

そろそろ現役を卒業して余生を楽しく元気でやろうと、そして来年も広島で会うことを約束して9時過ぎ散会となりました。11月15日記 長沼 博・松坂義孝

34回 同期会



10月17日東京学士会館に集合した。一昨年の開校百年記念時以来である。この間4人の物故者があり、また体調不良、仕事などの都合で参加できない人もいたが、予定の13人全員が参集した。佐々木君の司会、永山君の開会挨拶、澤田君の乾杯の音頭で始め、酒も入り、さらに、各人の様々な裏話なども披露され、時間不足なまま、為廣君の閉会の辞で全国大会を目度く締めくくった。短いとはいえない楽しい集いとなった。

遠方から参集された皆様、ご苦労様でした。また元気で会いたいものです。

10月30日記 串山 正

37回生 年次クラス会



昭和20年4年卒業の37回生は、平成19年度の年次クラス会を11月29日、級友京極方久君のお世話でホテル・フジタ京都で開催致しました。

昨年は宮島の岩惣で行いましたが、来年は一同傘寿を迎えますので、是非広島でとの声も有り、3度目の京都開催と致しました。然し年齢は年齢、参加は当初の12名が8名となりました。

宴席は大いに盛り上がり、部屋での二次会は日付変わり近く迄続きました。翌日はマイクロバスで、端巖山圓光寺、東

福寺、曼殊院門跡、南禅寺等々京の名刹を巡り、紅葉の素晴らしさを満喫出来た素晴らしいクラス会でした。

12月2日記 大谷 正

集まりつづける41期会



「二水会」に集う41回生

毎月第2水曜日が、我々同期の例会、かつ少年時代への回帰の集いだ。会場は紙屋町の喫茶店。予約不要の茶話会で「二水会」と呼ぶ。また正月2日、八丁堀での「新年互礼会」は、昭和31年から毎年欠かさず通算53回になる。

昭和20年、旧制附中に入学した41回生は、例え途中転出・転入しようとも、みんな我々が仲間……というルール。

原爆と敗戦で母校を失い、2年にわたる流浪の末に復帰。その間に転校した旧友4人と近年、再会を果たした。昨年、62年めの夏に有志が、我々の生命を救った恩師、故・宮岡力先生宅を弔問し、墓前に線香を手向けた。被爆時の附中で何が起ったのか、今や知る人も少ない。

11月14日記 新井俊一郎

44回生の同期会開催



去る11月28~29日、卒業53年、72歳の年男・年女71名が参加して同期会を東京で開きました。五反田ゆうぽうとでの懇

親会と深夜までの二次会、そしてゴルフ会や翌日の横浜地区・山手の洋館巡りあるいはみなとみらい散策と中華街・華正楼での昼食会（さらに往復車中での歓談付録つき）。「そのために旅行する価値のある（三ツ星レストランならぬ）魅力一杯の会」ですから、広島、関西はもちろん北海道、四国からも集まり、たっぷりと楽しみました。

次第に仲間が目減りして行く昨今ですが次回55周年記念を広島で開くのを初め頻繁に集まって、全員元気な顔を見せ合おうと約して散会しました。

11月30日記 脇本 崔

45回 仲マサコさんの50周年リサیتال



9月24日、広島のアステールプラザで行われた仲マサコ（河野圭子）さんのリサیتالには、遠くは京都からの2名を含めて約40名の同期生が集った。

私が初めて仲さんのシャンソンと出会ったのは、高校卒業時、一緒に所属していた卓球班のお別れパーティーで彼女の「アデュ」を聞いた時だが、70才を過ぎて益々芸に円熟味が加わり、今もなお日本シャンソン界の第一線で活躍していることは、同期生の一人として誠に喜ばしい限りである。この日のリサیتالでも、千人を超す観客が彼女の熱唱に時の経過を忘れ、大盛況裏に終了したが、その興奮も覚めやらぬ同夜、市内拍拍飯店に於いて彼女を囲んで懇親会を開催、小野文子先生にも同席して頂いた。

11月12日記 光永寛治

47回 卒業50周年同期会in宮島



11月18日、47回生80名弱が宮島の棧橋前に集まりました。紅葉は少しおくれいているようでしたが、むかし若かったガイドさんの案内で町屋通りから千畳閣と歩き、海岸に出ると大鳥居が満ち潮の中に凜と立っていました。

厳島神社では“健康祈願”のお祓いを受け、舞楽を奉納しました。獐猛な面をつけた「蘭陵王」の舞は、高い青空、流れる白い雲、朱の大鳥居などをバックに絵になるすばらしさでした。

宴席は国民宿舎「杜の宿」の大広間。この50年間で鬼籍に入った17名の亡き友にまず黙祷を捧げ、校歌を斉唱、古希

を祝って尺八界の重鎮北山君が「鹿の遠音」を奏でてみんなを魅了してくれました。小山夫妻の音頭で乾杯した後は50年前にタイムスリップしてワイワイガヤガヤ……

11月26日記 宇根賢二

49回 同期会



11月18日元安橋河畔のリバー・クルーズから会は始まった。参加者は17名。14時より全日空ホテルに場所を移す。恩師藤井千之助先生、病氣回復された田中昭男先生をお招きして、総勢36名の盛大なパーティとなった。

故柳川・天本君への黙祷の後、両先生に「短い」ご挨拶を頂き、初出席にして遠来の藤元（浅井）君の乾杯の音頭で開宴。向井君のセットしたパソコンで、東京の東君が送ってきたCD写真集等をスクリーンに映しながらの歓談となった。宴は場所を移して続くのだが、行数の関係で以下略。翌19日は9名が参加して晴天の安芸カントリークラブでゴルフ。グロス91の黒田君が圧勝した。

11月20日記(D)

61回 55歳を祝う



酷暑さなかの8月18日、国民年金保養センター「ひがし広島」に61回39名が集い、55歳を祝いあった。

介護、子の巣立ち、健康、仕事の節目。最初のプログラムだったはずの近況報告は、時間軸をさかのぼり、一つ一つが率直で味わい深い自分語りになって、夜が更けた。15年前の再会の昂揚、7年前の凝った趣向に代わり、互いのこれまでの歩みに寄せ合う心が、私たちの場の主役となったように思う。

翌日散会后、県立美術館の鑑光展を抜けて、縮景園を歩いた。焼けるような日射しをさえぎる緑が、記憶の像を裏切って、濃く深い。「あれから40年近くの、時の贈り物か…」得心は、思い出の冠木門をくぐったあたりで降りてきた。

8月21日記 富田倫生

72回「輝きを失わないもの」

何かと暗いニュースが多い昨今、同期喜久川政樹くんの11月例会卓話者としての凱旋帰国は誠に喜ばしいことであった。彼の晴れ姿をひと目見ようと地元だ



けではなく東京、福岡など遠方からも同窓生が駆けつけ、30名の集いとなった。

月例終了後会場をそのまま使い2次会を開催した。流石に酒が入り昔話に花が咲きだすと主賓そっちのけであちこちに笑いと涙の花が咲き乱れ、ついに満開状態となった。皆さん青春時代へフィードバックしたようで時間も忘れてネオン街へと消えていった。

ミラーボールから放たれる青春の光はいつまでも輝きを失わないものである。

11月17日記 石川敏宏

アカシアベースボールクラブ



2007年夏、猛暑日となった8月14日、母校グラウンドで毎年恒例の野球班OB戦が行われました。12時に59回生から高Ⅱまで30人がグラウンド集合。近年OB会メーリングリストを活用し連絡を取り合っているせいか、例年より多くの参加がありました。出席者を年齢順に並べ、奇数・偶数で2チームに分けました。打順は各チームごとに年齢の多い順で、全員一巡します。守備は誰と何回入れ替わってもOK。暑期中、老いも若きも汗だくで白球を追い、好プレー珍プレーあり。5イニングのゲーム2試合とも競った試合だったためか、ガチンコの勝負でしたが、誰も怪我人がなくてホッとしました。

10月31日記 西原利典(73回)

アカシア歯科医会 役員会

12月1日、エソール広島において役員会を開催しました。山崎義之会長(45回)より、「1人でも多くのメンバーが参加しやすい会にしたい。また、通信費が必要経費として出ているので、少額でも年会費を徴収したい。」との発言があり、協議に入りました。富士谷盛興副会長(65回)より、特に若い人たちの参加を望むなら、興味のあるものを付加することが不可欠であり、大学人としてお手伝いができると思うという、うれしい言葉がありました。鈴木隆子さん(74回)からは、アカシア会本部とも連携をとっていくのが有効ではないか等、来年の総会に向けて、有意義な会となりました。2月の役員会では具体的な内容を詰めていくことになりました。

12月5日記 香川周平(58回)

12月例会レポート

12月例会は、いつもとはがらりと趣向を変えて、マリンバの演奏とビンゴゲームで盛り上がりました。

＜マリンバの演奏＞

マリンバの演奏は、広島ジュニアマリンバアンサンブルのキュートな女の子たち14名が披露してくれました。

この季節にぴったりのクリスマスソングをはじめ、ロック、サンバ、クラシック、日本民謡など、ジャンルは多岐にわたりました。



演奏の素晴らしいさもさることながら、彼女たちの軽やかなフットワークと常に

笑顔を絶やさないパフォーマンスに、会場はすっかり魅了されました。

＜ビンゴゲーム＞

演奏の後は、お待ちかねのビンゴゲームです。1枚200円のビンゴカードが飛ぶように売れ、中には一人で度に何枚も買う方も！

折りたたみ自転車、ステーキ肉、お節料理、日本酒、洋酒、バスソルト、商品券、などなど…、素晴らしい景品

ばかりが豊富に用意され、まさにアカシア会の底力を見る思いでした。

2回行われたビンゴゲームを通して、カード購入枚数5枚のうち4枚がビンゴ！というラッキーな方がおられた一方、一度もビンゴしなかった方も数名おられ、最後に残った景品の好きなものを持って帰れるよう配慮がなされたりもしました。

あらかじめ残しておいた景品は、新年互例会の福袋として再度お目見えすること、次回の例会も楽しみです。



乾杯の
新井俊一郎氏(41回)

12月例会出席者(敬称略61名)

(39)木村淳邦、(40)村越郁夫、(41)新井俊一郎、菊地日朗、(43)後藤吟子、(44)尾崎友彦、山本正一、(46)大方幸三、(48)宇根睦博、中田研一、長谷川忠彦、(49)土井田 泰、(50)井藤壮太郎、小川玲子、齊藤百合子、田辺宏子、土屋照子、中井美恵子、松本幸子、向井恒雄、柳坪正子、吉中康磨、(51)上土康弘、茶藤健治、鼻岡甫訓、(53)馬場則行、山手愼正、(54)田中保昭、(55)近森翠、野坂千代美、(57)天島純子、(59)大森博美、白井孝司、三好 新、(62)俵 透、

山口隆子、(64)西原祥雅、(67)高橋裕子、(69)白川 昌、鈴木雅子、土居康子、中尾麻里、中谷忠司、平本敦子、藤田香津枝、安武 繁、(71)先本賢司、(75)井坂雄幸、酒井康徳、坂江知雄、杉山智恵、寺本真司、豊田紀代子、中川祥子、三浦陽子、三歩千晴、(76)後藤 誠、松浦勇人、(87)中道加奈子、(95)天方麻里恵、平野希代子



会場からの「ストップ!」のかけ声でボタンを押すと、次の番号が決まります。ドキドキの瞬間です。



自分のカードの数字を確認する目も真剣です。

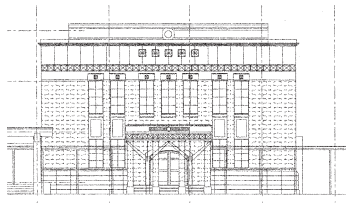


景品選びは慎重に慎重に

事務局だより

表紙写真について—

母校2号館の耐震補強工事に伴い、講堂前の渡り廊下を撤去。3月にはガラス張天井の通路となります。



◆常任幹事会開催

10月23日(火)にアカシア会館にて、全国アカシア会の常任幹事会が開催された。事業の推進状況のほか、スキャナーを購入したこと、アカシア会の

ホームページの利用状況とホームページからの住所変更が増えていることなどが報告された。

◆横山先生へのメッセージ募集

横山道昭先生[理科・昭和49年着任]が3月に定年退職を迎えられます。つきましては、卒業生の皆様から横山先生への温かいメッセージを募集いたします。2月末日までに、先生のアドレスgog13@hiroshima-u.ac.jp までメールをお寄せください。

問合せ：広大附属中・高校 融和会幹事 白神聖也(68回)

◆維持会費未納の方へ

「維持会費未納の方へ」が入ってい

る方は、維持会費1万円(または年会費1000円)を、同封の振込用紙でお振込みください。(名簿代金を込まないようお願いします。)

◆差し上げます(元教官の会より)

元教官の会が10月に発行した冊子『創立百年史』を語る」を、先着40名に差し上げます。お申込はアカシア会まで。



恩師の訃報

多幾山(津島)治子先生 5月7日
大上 寛親先生 11月9日
謹んでご冥福をお祈りいたします。

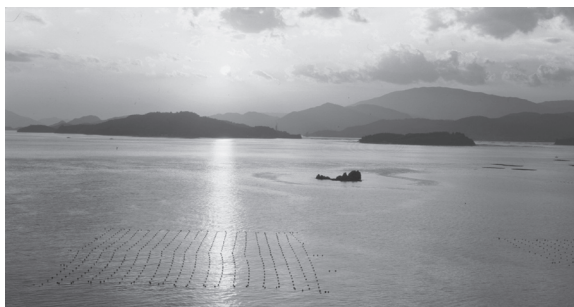
飲酒は20歳を過ぎてから。

常に品質最高を心がける

本社・醸造蔵/〒739-0011 広島県東広島市西条本町4-31
TEL(082) 422-2121
東京支社/〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸薬町1-12-9
TEL(03) 3668-4111

賀茂鶴酒造株式会社

石井泰行(43)



この一杯は 豊饒の海
君がいて 宇宙が歌って
果てもなく 夢かりたてる
飲びの歌 辛さその日も